原子炉予算配分大綱きまる。

9月13日、工業技術院の予算打合せは、午前から予定通りに進んだ。その結果、以下のようないま配分から提出された予算が大体承認された形態である。しかしその範囲を予定範囲にくらべ越えていないし、これ等の数値の性格から言って、公式の決定ではない。しかし今度承認された数字は今後大規模に修正されることが考えられないだろう。

各部会の中、構造部会については、別に研究班が既に形の上に持ち上げているが、その中味は、技術審査者から主として議論の上で扱われた結果、また具体的に考えられている。つまり他の部会との足を踏んで、形式的に予算を作り上げたのである。次に材料部会については、

ここに大きな問題があるわけではない。一原則予算の形で全部が重複に生産に変化することになっている。これに対して総会では、主として構造部会の委員から、現在の段階で一昨年に大規模な試験製作をやるべきではないかと主張したが、ようも結果は変わらなかったらしい。

（このデータはかなり苦心して手に入れたものであるので、近頃する向きかあっては当然言いかから取扱いには十分注意してほしい）

附

9月15日、準備調査会総合部会が開かれた。全員

| 我妻栄、田中二郎（茨城県）、河本昭一郎（教育次席）、内田俊一（茨城）
| 中村正德（茨）、佐々木三郎（茨県）、小山型（茨）
| 共上一日部局策行、佐藤日立社長、久保島田組経理長 |
原子力平和的利用研究補助金及びウラニウム資源調査費にもとづく
調査研究計画及び予定金額

<table>
<thead>
<tr>
<th>部会</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>金額（千円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>調査部会</td>
<td>1.資料調査</td>
<td>2.海外調査員派遣</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>構造部会</td>
<td>1.構造設計の基礎研究</td>
<td>2.放射線測定器の研究</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>材料部会</td>
<td>1.材料製造研究</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>小水素の極性条流の研究</td>
<td>(146,415)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>水素法の研究</td>
<td>(178,826)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>回収電解法の研究</td>
<td>(207,414)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>質量分析計の試作</td>
<td>(275,6)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2.石墨製造の研究</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3.放射性廃棄物の処理</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4.研究委員会</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>資源部会</td>
<td>1.資源調査</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2.資源白書の編纂</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3.資源白書の編纂</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4.研究委員会</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>207,721</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>7,300</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>1,313</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>14,425</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>820</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>1,185</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>12,217</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>20,700</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>6,930</th>
</tr>
</thead>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>金額（千円）</th>
<th>4,研究委員会</th>
</tr>
</thead>
</table>
構造部会研究計画案

I. 原子炉設計の基礎研究
  a. 可能性原子炉の型の研究
  b. 天然ガス型原子炉
II. 放射線測定器の研究
  a. 中性子判定装置

<table>
<thead>
<tr>
<th>装置名</th>
<th>価格</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Baron Counter</td>
<td>4,000</td>
</tr>
<tr>
<td>Scintillation Counter</td>
<td>3,000</td>
</tr>
<tr>
<td>Ionization Chamber</td>
<td>3,000</td>
</tr>
<tr>
<td>容器製造</td>
<td>1,000</td>
</tr>
<tr>
<td>電子管回路</td>
<td>5,000</td>
</tr>
<tr>
<td>放射線標準</td>
<td>6,000</td>
</tr>
<tr>
<td>電子顕微鏡その他の試作</td>
<td>3,500</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Ra (2g)                      20,000
d. その他の放射線測定装置の試作研究
  a. Ionization Chamber        6,300
  b. Scintillation Counter     3,000
  c. ray 用 emulsion           300
C. 危険防止用測定器の試作研究
  個人用
  Radiation Field Monitor     5,000

III. 放射性物質取扱装置の試作研究
  manipulator                 11,000
  人工放射性を持つサーキット  5,000

Total                        79,800
(4)

資源部会関係内容

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>区分</th>
<th>会社名</th>
<th>経費（円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>高資源調査</td>
<td>地質調査所</td>
<td>14,425 (地質調査所寄付)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>口産U鉱石</td>
<td>通販</td>
<td>三菱金属鉱業</td>
<td>1,185.00</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>精錬</td>
<td>科研</td>
<td>2,219</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>研究元</td>
<td>科研</td>
<td>570.00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

小計 (16,214)

材料部会関係内容

水素発生装置

(1) 設計上の効率
250 m³/hr の H₂ガス (H₂ 0.270 ppm) を処理し、HD 合成
時量 74％の精清ガスを毎時 0.068 m³ (P₂ 8 優算月産約 20

(2) 内訳

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>採鉱、鉱物</td>
<td>14,462</td>
</tr>
<tr>
<td>水素発生装置</td>
<td>120,000</td>
</tr>
<tr>
<td>燃焼装置</td>
<td>9,948</td>
</tr>
<tr>
<td>研究分析、試験材料</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>Total</td>
<td>146,410</td>
</tr>
</tbody>
</table>
交換反応の研究.
(1) 概要.
(2) 内容.
<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>炎業の研究</td>
<td>4,680</td>
</tr>
<tr>
<td>供橋装置</td>
<td>3,910</td>
</tr>
<tr>
<td>原料製造</td>
<td>770</td>
</tr>
<tr>
<td>焼焼き製造</td>
<td>2,000</td>
</tr>
<tr>
<td>交換反応塔による研究</td>
<td>17,500</td>
</tr>
<tr>
<td>供橋</td>
<td>1,000</td>
</tr>
<tr>
<td>供橋装置</td>
<td>7,870</td>
</tr>
<tr>
<td>工事</td>
<td>2,920</td>
</tr>
<tr>
<td>設備改造</td>
<td>2,000</td>
</tr>
<tr>
<td>原料製造</td>
<td>1,000</td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>6,600</td>
</tr>
<tr>
<td>回収</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>原料水製造</td>
<td>13,640</td>
</tr>
<tr>
<td>一段ドレン回収装置</td>
<td>6,782</td>
</tr>
<tr>
<td>二段ドレン回収装置</td>
<td>3,617</td>
</tr>
<tr>
<td>清廃物洗浄装置</td>
<td>973</td>
</tr>
<tr>
<td>冷却水洗浄装置</td>
<td>1,398</td>
</tr>
<tr>
<td>炎業計算装置</td>
<td>270</td>
</tr>
<tr>
<td>附属装置</td>
<td>600</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>Total</strong></td>
<td><strong>37,820</strong></td>
</tr>
</tbody>
</table>

回収電解法.
(1) 炎業
(2) 内容
<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>電解</td>
<td>1,465</td>
</tr>
<tr>
<td>燃焼値</td>
<td>2,500</td>
</tr>
</tbody>
</table>
(6)

電気濃縮装置
空気処理装置
附属設備
材料
工事
Total

質量分析計の設置
(1)、概要
(2)、内容
試験用分析機材料費
重水調製装置活性炭試験費
運輸費
成品作製費
Total

Graphite
内装

B、B内装用Buckmann 分光光度計 1,500
B、B 1 エレメントカウンター 4,500
分析研究用消耗品
文書及び資料購入
Total

C、委員会
重水費
重水研究小委
石塁
放射性廃棄物処理費
Total
雑誌『原子力』

みずす書店より発行予定の雑誌『原子力』1号の内容を、編集委員会で計画の結果、大切なようなものにしたいと予定しています。

表頭言
年刊の群
日本の原子力間題の沿革と現状
日本の原子力研究の基本的問題
ホームデーレル夫人との対談
夜話と物語
電気用原子力の展望
増進の意義
運転講座『原子力入門』
読書案内
技術展望
書評
ニュース（口外、口内）。

編集について会員の親切の意見を希望します。

会費を払って下さい。

現在雑誌の財政はかなり厳しい状態であります。精進書に御奉りした会員で、会費を納めの方は至急会費を年間250円以上を精進して下さい。会員は
一般会員 一月50円 半年250円
学生会員 一月30円 半年150円。

です。
新入会希望者の推薦について

先日の大さじ会で、新入会を希望する方の推奨をどうするかについて討議した結果、推奨は会の主催および会の担当者等の意見を十分に考慮して、会の活動に参加して下さる方に入れていただきということが、会の推奨制ということを決まりました。その意味や程度について皆さんと質問がありました。

推奨について、会はその方のその後の言動について責任を負うべきという意味ではありません。しかし現在の会の実力から考えて、多くの会の主管を十分に理解して何らかの形で活動に協力して下さる方を推奨するようにして下さい。単に原子力に関する知識や情報を知ったに止まらず、という方については別な制度を考えています。これでは決して会を狭くするような意味ではなく、会の主管を理解して下さる方を一人でも多く見付けて会を発展させて行きたいと考えています。

尚、推薦のコロキウムに参加された方は、一定の会員会員であると仮定しております。

新入会者紹介

新に次の者が入会されました。

氏名

阿久津 晃一

関本 潤

内藤 俊子

推す者

石川

工学大学新聞7月20日号配布。

工学大学学長内田俊一氏は準備調査会総合部会や予算計画会などで活躍し、プラント調査会の一人らしい。少し古いが7月20日付の工学新聞には氏の意見やその他原子力に関する記事が出ているので、工学の会員の方々に、会員に一紙ずつ配布します。